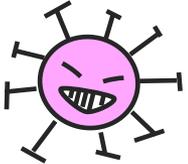


感染症に気をつけよう!!



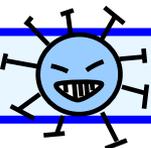
横浜市内 感染症 流行状況

2024年2月号
横浜市衛生研究所

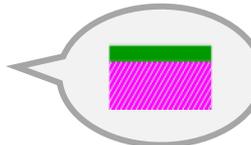
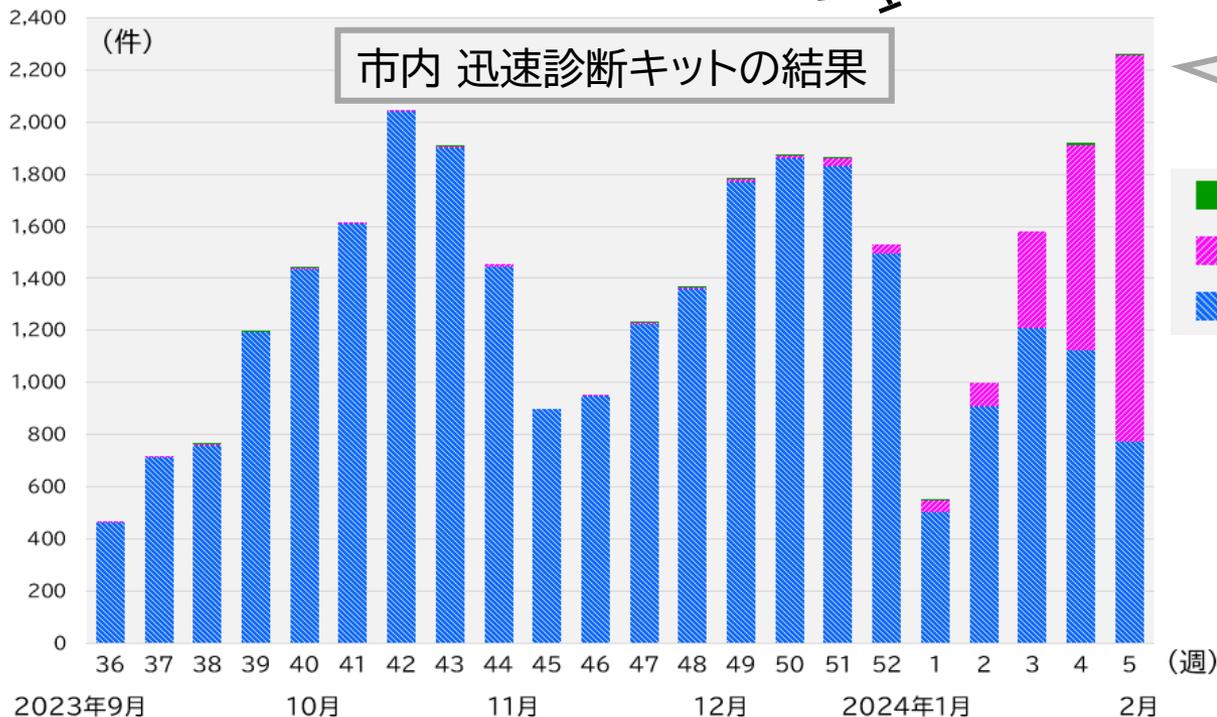


感染症	流行状況		説明 【関連リンク】
<u>インフルエンザ</u>	 注意報	 増加	報告が増えて、警報レベルに近づく B型の割合が増加 【市内流行情報】
<u>新型コロナウイルス</u> 感染症	 流行	 増加	1月上旬以降、報告増加が継続中 （昨年5月8日から定点報告に変更）
<u>A群溶血性</u> <u>レンサ球菌咽頭炎</u>	 発生	 増加	昨年9月下旬以降に増加が目立った 年末年始で減少、今年に入り増加傾向
<u>感染性胃腸炎</u>	 発生	 横ばい	昨年末は急増、今年は昨年と同レベル 集団感染の報告増加 【ちらし】
<u>梅毒</u>	(全数報告)	 横ばい	20歳代～50歳代を中心に多く発生 【政府広報 動画】【無料・匿名検査】

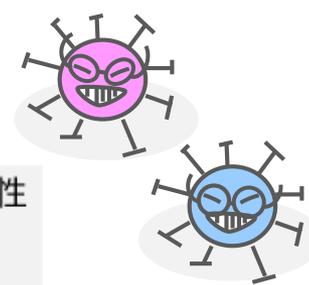
今、復習しておきたい



インフルエンザ A型と B型



- A型とB型共に陽性
- B型陽性
- A型陽性



- 季節性に流行を起こすインフルエンザウイルスは、構造の違いで大きく**A型**と**B型**に分けられる。
- **A型**はウイルスの表面にある突起の違いで、さらに**亜型**(H1N1・H3N2など)に分類される。
- **A型**ウイルスの同じ**亜型**内でも、遺伝子が繰り返し突然変異を起こすため、毎年のように流行する。

- 例年、**B型**は**A型**より遅い時期に流行することが多い。
- 同時期に**両方**が流行した際は、同じ人が**両方**同時にかかることがある。
- **A型**にかかった後に、**B型**にかかることもある。
- 同じシーズンに、**A型**の別の**亜型**にかかることもある。



- **A型**でも**B型**でも、治療法は変わらない。
- 感染経路も同じなので、予防には**両方**とも、正しい手洗いや咳エチケットが大事。

<HPIはこちら>

